調布市武者小路実篤記念館運営事業団設立趣意書

調布市武者小路実篤記念館は、調布市を終焉の地とした武者小路実篤の業績を顕彰することにより、広く市民文化の向上をはかることを目的として設立されたものでありますが、個人を顕彰する公立の記念館としては、小規模ながら平明で象徴性の高い建物とともに、企画展示・資料の収集などを中心とする運営のあり方は、今日まで高い評価を得てきました。

また、この間、全国各地から多数の愛好者が訪れており、さらに武者小路家をはじめ関係者（機関）との間の良好な信頼関係や協力体制が着実に築かれてきました。

こうしたことから、調布市が広く誇り得る文化の拠点の一つとして将来にわたって一層の充実と発展が期待されており、記念館事業の適正かつ効率的な運営をはかるための組織として、ここに新たに調布市武者小路実篤記念館運営事業団を設立するものであります。

平成4年1月1日

調布市教育委員会

<沿革>

1955年（昭和30年）

12月 武者小路実篤が調布市入間町荻野（現：若葉町）に転居。

1976年（昭和51年）

4月9日 武者小路実篤死去・享年90歳。

9月 武者小路家より実篤邸宅及び所蔵の美術品・愛用品など多数が調布市に寄贈される。

1978年（昭和53年）

5月12日 旧実篤邸跡を実篤公園として開園。

1985年（昭和60年）

10月28日 生誕100年にあたる年、実篤公園隣接地に、調布市武者小路実篤記念館開館。（一般公開29日より）

1992年（平成4年）

1月1日 調布市武者小路実篤記念館運営事業団設立。

1994年（平成6年）

5月12日 調布市武者小路実篤記念館「資料館」を増築、開館。収蔵スペースの拡充と閲覧部門の新設、情報提供システムが稼働。

2001年（平成13年）

4月 調布市基本計画による「武者小路実篤を核とする特色ある普及事業」が始まり、講座、講演会、朗読会、自然観察会などの普及事業が充実する。

2002年（平成14年）

4月 調布市武者小路実篤記念館運営事業団を調布市の監理団体に指定。

10月 協力ボランティア養成講座が始まる。

2002年（平成15年）

5月 地域連携事業が始まる。

2005年（平成17年）

12月 開館20周年、新・情報提供システム、収蔵品データベース、ホームページが稼働。

2007年（平成19年）

10月 旧実篤邸耐震補強工事（5～9月）が終了し、6日より公開を再開。